

将来を見据えた 医薬品流通の方向性を示す

(一社)日本医薬品卸売業連合会 会長 鈴木 賢

本日は大変お忙しい中、本セミナーにご出席いただき、誠にありがとうございます。会員構成員企業の皆様におかれましては、新型コロナウイルスワクチン接種事業に全面協力し、該当ワクチンの配送業務を着実に実施されていることと存じます。卸連合会としましては、ワクチンの配送業務を通じて、新型コロナウイルス感染症を克服し、いち早く、国民の皆様が安心して暮らせる世の中になることを願っております。我々医薬品卸にとって、薬を届けるということは、ライフラインを担うことです。医療を支える社会インフラとして有事の際にも医薬品を安定供給することが期待されております。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

さて、5月開催された第9回通常総会において、一般社団法人日本医薬品卸売業連合会の会長に再度、就任するよう指名がございました。会員各位・関係の皆様のご協力をいただきながら、卸連合会

が良い方向に進むよう誠心誠意、取り組む所存です。総会で決議されたコンプライアンス宣言を踏まえた対応に努めることはもとよりですが、主に3つのことに取り組んでまいります。

1つめは、「過去からの取組みの継承」であり、2つめは、「現下の諸課題への適切な対応」、3つめとして、「将来へ向けた道筋の提示」をしてまいります。本年4月に「医薬品卸将来ビジョン2021の検討会議」を立ち上げたところであり、将来を見据えた医薬品流通の方向性を提示した将来ビジョンを作成していきたいと考えております。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により、延期となっておりました「IFPW東京総会」が、2021年10月にハイブリッドで開催されます。ハイブリッドだから出来る総会を目指して、「IFPW東京総会」を成功に導き、国際協調を充実してまいります。卸連合会では東京総会に向け、着々と準備を進めているところです。開催まであと3か月となりました。皆様にも、今後色々ご協力をいただくこととなりますのでよろしくお願い致します。

今回のセミナーのテーマは、我々医薬品卸売業にとって大変関心の高いテーマ「新時代の流通改善とコロナ禍での医薬品業界へのインパクト」であります。厚労省の林経済課長、神奈川県立保健福祉大学大学院の坂巻教授、クレコンの木村社長、IQVIAジャパングループの湊会長にご講演いただきます。有意義なお話を聞かせていただくと私も期待しているところです。皆様もどうかしっかり勉強していただき、会社経営に活かしていただきたいと願っております。

